

第 10 章 文化財

第 1 節 文化財保護体制の充実

1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。令和 2 年度は県内 15 地区 133 件の文化財を巡視した。

2 文化財保護指導者研修会

(1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、公益財団法人福島県文化振興財団と県教育委員会の共催により実施した。文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

(2) 期日及び場所

令和 2 年 10 月 15 日(木)～16 日(金)
とうほう・みんなの文化センター [福島県文化センター]
福島市民家園、旧霞堤・荒川資料室 (福島市)

(3) 内容

ア 講義内容及び講師

- (ア) 「川俣町前田遺跡の意味するもの」
吉田秀享 (福島県文化振興財団遺跡調査部)
- (イ) 「市町村における文化財保護の課題」
本間 宏 (福島県文化財センター白河館)
- (ウ) 「福島県文化財保存活用大綱について」
山本友紀 (福島県教育庁文化財課)
- (エ) 荒川流域の総合治水システムと土木遺産
佐久間智明 (福島市建設部河川課)

イ 現地研修

福島市民家園、旧霞堤・荒川資料室 (福島市) 見学

3 市町村文化財保護担当者会議

(1) 趣旨

県内市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえで必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的とする。

(2) 期日及び場所

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の会議開催を中止とし、資料配布のみ行った。(令和 2 年 6 月配付)

(3) 内容

ア 文化行政の動向

イ 令和 2 年度事業について

ウ 指定文化財の対応について

第 2 節 埋蔵文化財の保護の充実

1 埋蔵文化財保護体制

県の歴史と文化を物語る文化財や県内の遺跡への関心は、県民の中で着実に高まっていることから、県教育委員会は、埋蔵文化財(遺跡)の保存・保護のため調査体制の充実を図ってきた。令和 2 年度は、公益財団法人福島県文化振興財団から 1 名の派遣を受けて、東日本大震災からの復旧・復興事業の埋蔵文化財調査のため、文化財課の体制を強化した。

公益財団法人福島県文化振興財団からの派遣

派遣期間	組織名(人数)
R2.4～R3.3	公益財団法人福島県文化振興財団(1)

また、県の委託により発掘調査を行っている公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員 21 名、派遣教員 1 名、財団間出向職員 4 名、計 26 名で調査にあたった。

公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

年度	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7
人員	26	26	30	40	44	47	47	55	60	60	62	62	62	62
年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人員	62	62	68	68	76	61	39	40	40	40	41	41	38	32
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2			
人員	26	26	35	40	39	37	32	30	32	26	22			

(平成 14 年度までは遺跡調査課定数)

2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」・「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

(1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

令和 2 年度は、会津縦貫南道路 11,000 m²、一般国道 49 号 1,400 m²、只見川河川整備 2,100 m²、阿武隈川河川整備 17,200 m²、計 31,700 m²の試掘・確認調査を実施した。

なお、復興事業に係る埋蔵文化財調査については別記した。

(2) 保存協議

昨年度からの継続協議を含め、関係機関と保存協議を実施した。

関係機関：国土交通省、県土木部、東北電力等。

(3) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査（記録保存目的の本発掘調査）を公益財団法人福島県文化振興財団に委託し、以下の遺跡について実施した。

- ・会津縦貫南道路：栗林遺跡（下郷町）2,040 m²
- ・県道広野小高線（浪江工区）整備事業：赤坂D遺跡（浪江町）100 m²
- ・国道114号（山木屋1工区）改良工事：前田遺跡（川俣町）2,450 m²

・中間貯蔵建設予定地：後迫B遺跡（双葉町）6,600 m²
 この他に、不時発見に伴う緊急の発掘調査として、県独自で以下の調査を実施した。

- ・梅川筋河川海岸整備事業：大毛内B遺跡（相馬市）800 m²

なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村文化財保護担当部局が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時指導・助言している。

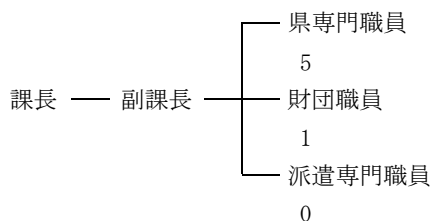
3 令和2年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

東日本大震災及び原子力災害に係る復旧・復興事業計画区域内において、埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないように対応した。

また、被災市町村の復興事業に対しても、埋蔵文化財調査に係る技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈令和2年度〉復興調査体制

（南相馬市駐在）



調査対応した開発事業は以下のとおりである。

(1) 分布調査

農山村地域復興基盤総合整備、中間貯蔵施設等 4,505,094 m²

(2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤総合整備、海岸防災林造成、中間貯蔵施設等 172,800 m²

(3) 災害復興に係る市町村技術協力

ア 大熊町

携帯基地局建設に係る本調査、工業団地に係る分布調査

イ 葛尾村 育苗施設建設に係る試掘・確認調査

4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

(1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

公益財団法人福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、195名が受講した。

(2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

令和2年度に研修を受講した者はいなかった。

5 埋蔵文化財保護普及活動

令和2年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・福島県内遺跡分布調査報告 27
- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 7
- ・令和2年度中間貯蔵土壌貯蔵施設等工事予定地における埋蔵文化財調査業務報告書

6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

市町村	遺跡名	協力内容
小野町	飯豊上地区	分布調査 試掘・確認調査
会津美里町	高田館跡	発掘調査
湯川村	堂後遺跡	発掘調査
南会津町	上村遺跡及び隣接地	試掘・確認調査
	宮本館隣接地	試掘・確認調査
古殿町	仙石地区	分布調査
川俣町	神宮寺跡	試掘・確認調査
大熊町	秋葉台遺跡	発掘調査
	大熊西工業団地建設予定地	分布調査
南相馬市	羽山岳の木戸跡	分布調査
葛尾村	北平C遺跡	試掘・確認調査
広野町	高倉城跡	分布調査

この事業は、県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの要請により県教育委員会が埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援する事業である。

調査等に必要な技術の協力・支援を行う職員は、県教育委員会の依頼により公益財団法人福島県文化振興財団が選任した財団職員で、分布調査、試掘・確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を行う。

令和2年度の技術協力の実績は、上記のとおり。

7 開発事業に伴う試掘・確認・発掘調査件数

(1) 令和2年度 試掘・確認調査件数

(令和2年4月～令和3年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	4	1		1	1	7	2	16
2	河川		1		1		2		4
3	ダム				1				1
4	住宅	5	28				1		34
5	個人住宅	4	47	1	8		8		68
6	店舗	1	2				2		5
7	その他建物	3	5	1	4		5	1	19
8	宅地造成		13					1	14
9	土地区画整理								0
10	公園造成						1		1
11	電気・ガス・水道等	2					1	4	7
12	農業基盤整備事業（農道等を含む）		7		1		9		17
13	その他の農業関係事業	1					1		2
14	土砂採取						8	1	9
15	その他開発	6	12				10	1	29
合 計		26	116	2	16	1	55	10	226

(2) 令和2年度 発掘調査件数

(令和2年4月～令和3年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	4	1		1	1	2	1	10
2	河川		1				1		2
3	学校建設	1					1		2
4	住宅				1				1
5	個人住宅				2		1		3
6	その他建物	1	1				2		4
7	宅地造成			1					1
8	土地区画整理								0
9	農業基盤整備事業（農道等を含む）		2	1	5				8
10	その他の農業関係事業						1		1
11	土砂採取						1		1
12	その他開発		3				2	2	7
合 計		6	8	2	9	1	11	3	40

8 範囲内容確認調査・史跡整備に係る調査・学術調査

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	範囲内容確認調査	3	1	2	3		4	2	15
2	史跡整備に係る調査	1	1	2	1	1	1		7
3	学術調査								0
合 計		4	2	4	4	1	5	2	22

9 令和2年度 試掘・確認調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	山口地区遺跡推定地	都路町古道字杉内	福島県教委	5月25日～5月27日	5,800	—	—	農地整備
2	歩代田遺跡	田村市西向字歩代田	福島県教委	6月1日～6月3日	7,700	中世	散布地	農地整備
3	早渡工区遺跡推定地	川内村大字上川内字早渡	福島県教委	6月8日	1,170	—	—	道路
4	妙見迫遺跡	南相馬市原町区江井字妙見迫	福島県教委	6月22日～6月26日	13,200	平安・中世	散布地	農地整備
5	大毛内B遺跡	相馬市大曲字大毛内	福島県教委	7月1日～7月2日	1,500	古墳・平安	集落跡	河川海岸
6	北新田塩田跡ほか1か所	南相馬市小高区蛭沢字稲村	福島県教委	7月7日・7月9日	2,700	近世	生産遺跡	農地整備
7	双葉町内遺跡推定地	双葉町大字細谷字陣場前	福島県教委	7月13日～7月16日	12,430	—	—	中間貯蔵施設
8	加倉地区遺跡推定地2か所	浪江町大字加倉字馬場前ほか	福島県教委	7月20日～11月6日	16,200	弥生・近世	散布地	農地整備
9	大熊町内遺跡推定地	大熊町大字小入野字向畑	福島県教委	9月23日	360	—	—	中間貯蔵施設
10	野馬土手跡推定地2か所	南相馬市原町区大字大木戸字東方	福島県教委	9月15日～10月1日	5,100	—	—	河川海岸
11	富岡町内遺跡推定地	富岡町毛萱字浜畑	福島県教委	10月5日・10月6日	4,800	—	—	河川海岸
12	沢田館跡ほか5か所	南相馬市原町区上高平字沢田ほか	福島県教委	10月12日～11月17日	18,840	中世	その他 (館跡)	農地整備
13	糠塚E遺跡ほか2か所	川内村大字下川内字糠塚ほか	福島県教委	11月30日～12月4日	1,450	縄文	散布地	発電・送電
14	下加倉B遺跡	浪江町大字加倉字下加倉	福島県教委	12月14日～12月18日	9,600	古墳	集落跡	農地整備
15	小山B遺跡ほか1か所	檜葉町大字下小墾字地藏堂ほか	福島県教委	12月21日～1月22日	58,580	縄文	集落跡	農地整備
16	北原貝塚	南相馬市小高区浦尻字滝ヶ迫ほか	福島県教委	2月1日・2月2日	1,970	縄文	集落跡	道路
17	天神谷地遺跡ほか3か所	南相馬市原町区上北高平字貝餅ほか	福島県教委	2月3日～2月10日	11,200	縄文・弥生	散布地	道路
18	CG-B10	下郷町大字中妻字新田乙	福島県教委	6月1日～6月19日	575	縄文	集落跡	道路
19	TZ-AB. B1	柳津町大字藤	福島県教委	7月20日～7月31日	30	—	—	道路
20	中丸城跡	金山町大字横田	福島県教委	8月24日～8月28日	97	—	—	河川整備
21	徳定A・B遺跡	郡山市田村町徳定・御代田	福島県教委	12月7日～12月18日	427	古墳・中世	散布地	河川整備

10 令和2年度 発掘調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	栗林遺跡	下郷町大字中妻字和田前、柳ノ下	福島県教委	5月11日～11月25日	2,040	縄文	集落跡	会津縦貫道路
2	後廻B遺跡	双葉町大字郡山字後廻	福島県教委	4月6日～9月30日	6,600	弥生・古墳 奈良・平安 近世	集落跡	中間貯蔵施設
3	前田遺跡	川俣町大字小綱木字前田	福島県教委	4月15日～2月26日	2,450	縄文・弥生 奈良・平安 中世・近世	低湿地・ 集落跡	国道114号改良
4	赤坂D遺跡	浪江町大字棚塩字赤坂	福島県教委	4月23日～7月1日	100	古墳・奈良	生産遺跡	県道整備
5	徳定A・B遺跡	郡山市田村町御代田	福島県教委	4月20日～11月30日	3,000	古墳・鎌倉	集落跡	河川改修
6	大毛内B遺跡	相馬市大曲字大毛内	福島県教委	9月14日～2月10日	800	古墳・奈良 平安・中世 近世	集落跡	河川改修

第3節 文化財保存助成の充実

1 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額(単位:円)			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
国指定文化財管理	延命寺	延命寺地蔵堂	建造物	防災保守点検等	259,900	64,500	64,500	130,900
国指定文化財管理	八葉寺	八葉寺阿弥陀堂	建造物	防災保守点検等	1,102,600	275,500	275,500	551,600
国指定文化財管理	横山操	旧滝沢本陣 横山家住宅	建造物	防災保守点検等	290,600	72,500	72,500	145,600
国指定文化財管理	飯盛正徳	旧正宗寺三匠堂	建造物	防災保守点検等	758,868	189,500	189,500	379,868
国指定文化財管理	勝福寺	勝福寺観音堂	建造物	防災保守点検等	430,650	107,500	107,500	215,650
国指定文化財管理	熊野神社	熊野神社長床	建造物	防災保守点検等	1,142,300	285,500	285,500	571,300
国指定文化財管理	円満寺	円満寺観音堂	建造物	防災保守点検等	900,100	225,000	225,000	450,100
国指定文化財管理	恵隆寺	恵隆寺観音堂	建造物	雪降し、除雪等	163,600	40,500	40,500	82,600
国指定文化財管理	法用寺	法用寺本堂内 厨子及び仏壇	建造物	防災保守点検	40,500	10,000	10,000	20,500
国指定文化財管理	常福院	常福院薬師堂	建造物	防災保守点検	47,250	11,000	12,000	24,250
国指定文化財管理	福生寺	福生寺観音堂	建造物	防災保守点検	51,600	12,000	13,000	26,600
国指定文化財管理	飯野八幡宮	飯野八幡宮	建造物	防災保守点検等	772,336	193,000	193,000	386,336
計	12件				5,960,304	1,487,000	1,488,000	2,985,304

2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

(1) 国指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
記念物保存修理	横山操	旧滝沢本陣	史跡	史跡整備	25,316,000	19,971,000	750,000	4,595,000
美術工芸品保存修理	三島町	福島県荒屋敷遺跡出土品	美術工芸品 (考古資料)	考古資料修復	8,291,501	5,291,000	450,000	2,550,501
重要有形民俗文化財保存修理	南会津町	奥会津の山村生産用具及び民家（馬宿）	有形民俗	建造物修理	4,709,520	2,316,000	450,000	1,943,520
建造物保存修理	専称寺	専称寺本堂 ほか2棟	建造物	防災施設整備	55,694,000	46,976,000	1,530,000	7,188,000
計	4件				94,011,021	74,554,000	3,180,000	16,277,021

(2) 県指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
天然記念物保護増殖	石川町	中の内のフジ	天然記念物	保護増殖	8,410,350	0	2,770,000	5,640,350
建造物保存修理	如法寺	如法寺観音堂 附仁王門	建造物	建造物修理	15,700,850	0	5,210,000	10,490,850
美術工芸品保存修理	如法寺	木造聖観音立像	美術工芸品	彫刻修復	1,373,226	0	450,000	923,226
美術工芸品保存修理	恵隆寺	木造二十八部衆立像	美術工芸品	彫刻修復	1,266,582	0	420,000	846,582
建造物保存修理	南湖神社	松風亭蘿月庵	建造物	建造物修理	3,993,000	0	1,060,000	2,933,000
記念物保存修理	猪苗代町	猪苗代城跡 附鶴峰城跡	史跡	史跡整備	2,815,500	0	930,000	1,885,500
美術工芸品保存修理	田村市	佐久間庸軒 和算関係資料	美術工芸品	歴史資料修復	1,044,500	0	340,000	704,500
記念物保存修理	相馬市	中村城跡	史跡	史跡修復	21,989,000	0	7,320,000	14,669,000
計	8件				56,593,008	0	18,500,000	38,093,008

※ 相馬市（中村城跡）は、令和3年度に明許繰越。

3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

台風19号等により被災した国指定文化財の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧 (R1負担行為)	白河市	白川城跡	史跡	災害復旧工事	104,591,365	73,213,000	15,689,000	15,689,365
災害復旧 (R2負担行為)	白河市	白川城跡	史跡	災害復旧工事	122,790,000	85,953,000	18,418,000	18,419,000
災害復旧 (R1負担行為)	白河市	南湖公園	史跡	災害復旧工事	38,848,538	27,193,000	5,827,000	5,828,538
災害復旧 (R2負担行為)	白河市	南湖公園	史跡	災害復旧工事	39,270,000	27,489,000	5,890,000	5,891,000

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧 （R 2 負担行為）	白河市	白河舟田・ 本沼遺跡群	史跡	災害復旧工事	15,153,600	10,607,000	2,273,000	2,273,600
災害復旧 （R 1 負担行為）	相馬野馬追 保存会	相馬野馬追	重要無形 民俗	災害復旧工事	20,024,400	10,012,000	5,006,000	5,006,400
計	6 件				340,677,903	234,467,000	53,103,000	53,107,903

※ 白河市（白川城跡（R 2 負担行為））は、令和 3 年度に事故繰越。

第 4 節 文化財の保護と公開の推進

1 第 62 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 令和 2 年 10 月 31 日 リハーサル・実行委員会

11 月 1 日 開会式・民俗芸能公開

場 所 三沢市公会堂（青森県青森市）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止。

2 文化財保護強調週間の実施

文化財保護の一層の推進を図るために、11 月 1 日から 11 月 7 日までの文化財保護強調週間を中心に、チラシを配布し、県民に対し啓発を行った。

3 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者・管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1 月 26 日の文化財防火デーを中心に、チラシを配布するなど啓発を行った。

また、各市町村においては、消防署等の協力を得て、防火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

第 5 節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品としての価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

1 登録審査委員

佐藤安弘、阿部榮、溝井辰美、塚本剛之

2 登録審査会の実施状況

期 日	会 場	審査数	失格数	登録数	登録数の内訳	
					刀 剣	銃 砲
5 月 27 日	いわき合同庁舎	38	0	38	38	0
7 月 17 日	郡山市労働福祉会館	48	4	44	42	2
9 月 25 日	会津若松合同庁舎	32	2	30	30	0
11 月 26 日	あづま荘	42	2	40	40	0
3 月 16 日	郡山市労働福祉会館	44	5	39	38	1
計		204	13	191	188	3

※ 再交付に係る審査を除く。

3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

区 分	銃 砲 等	刀 剣 類
譲 受 け	13	672
相 続	1	68
貸 付	1	0
保管の委託	1	7
計	16	747

第6節 福島県文化財センター白河館の運営状況

1 入館者数

令和2年度の入館者は11,249人であり、前年度の入館者(23,679人)に比べ12,430人減少した。団体利用は、前年度に比べ6,129名減少した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、576,005人となった。

(令和3年3月31日現在)

月	入館者数(人)	1日平均入館者数(人)
4月	362	21
5月	347	25
6月	751	30
7月	1,052	39
8月	1,577	58
9月	1,084	42
10月	1,328	49
11月	1,316	53
12月	605	25
1月	678	28
2月	1,146	48
3月	1,003	39
計	11,249	39

2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 88.7% (うち総入館者数に占める白河市の割合 46.2%)

県外者 11.3%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が25.7%、団体入館者が6.5%を占める。

3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人) (令和3年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数							1			2	1	1	5
	入館者数							8			20	8	8	44
小学校	団体数		2				5	2				1	2	12
	入館者数		95				100	71				36	16	378
中学校	団体数									1				1
	入館者数									21				21
高等学校	団体数							2						2
	入館者数							31						31

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援学校	団体数													0
	入館者数													0
大学	団体数								1					1
	入館者数								27					27
幼小中高PTA (保護者のみ)	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA (保護者と児童生徒)	団体数													0
	入館者数													0
研究会	団体数													0
	入館者数													0
子ども会	団体数													0
	入館者数													0
公民館等	団体数							1	1					2
	入館者数							14	9					23
福祉施設・ デイケアサービス	団体数				4									4
	入館者数				22									22
資料館等	団体数							1	2					3
	入館者数							30	50					80
歴史研究団体	団体数													0
	入館者数													0
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数												1	1
	入館者数												11	11
その他	団体数					1	4							5
	入館者数					8	90							98
計	団体数	0	0	2	4	1	5	11	4	1	2	2	4	36
	入館者数	0	0	95	22	8	160	244	86	21	20	44	35	735
総入館者に占める 団体入館者の割合(%)		0	0	12.65	2.09	0.51	14.76	18.37	6.53	3.47	2.95	3.84	3.49	6.53

4 情報発信事業の利用者

ホームページアクセス件数 38,737 件

(令和3年3月31日現在)

(文化財データベースのほか、福島県文化財センター白河館のイベント情報等をホームページで紹介している。)

5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品等 56,922 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。写真掲載・転載の申し込み 29 件、出土品借受の申し込み 13 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 15 件であった。

6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、文化財保護指導者、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象者	研修内容
基礎研修 (2回)	市町村職員等	市町村が直面する課題や先行実践例の検証などを通して、文化財保護法改定後の文化財保護行政のあり方を議論する。
専門研修 (2回)	市町村職員、市町村文化財保護指導者等	市町村文化財保護行政の実践例を現地で検証したり、デジタル技術を駆使した最新の調査・記録技術を学ぶ。
特別研修 (2回)	市町村職員等	市町村の要望に応じて館内外において随時実施。

参加者：合計 162 名

令和2年度研修実施状況 (令和3年3月31日現在)

- ・基礎研修(2回)
 - 「文化財保護行政実務者研修」 8月7日 参加者 7名
 - 「文化財防災研修」 12月16日 参加者 13名
- ・専門研修(2回)
 - 「文化財保護指導者研修会」
10月15日～16日 参加者のべ112名
 - 「デジタル画像を用いた遺構実測実習」
1月22日 参加者 6名
- ・特別研修(2回)
 - 「石器写真撮影技術研修」 12月5日 参加者 3名
 - 「水害等により水浸し文化財等の取り扱いについて」
11月19日 参加者 22名

7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室を設けている。また野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

(1) いつでもできる体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「管玉づくり」「火おこしに挑戦」のほか、月替わりの期間限定メニューを用意している。

常時体験型体験活動状況 (令和3年3月31日現在)

月	来館者数(人)	体験者数(人)	割合(%)
4月	362	0	0
5月	347	0	0
6月	751	44	5.9
7月	1,052	174	16.5
8月	1,577	448	28.4
9月	1,084	221	20.4
10月	1,328	260	19.6
11月	1,316	222	16.9
12月	605	144	23.8
1月	678	98	14.5
2月	1,146	170	14.8
3月	1,003	171	17.0
計	11,249	1,952	17.4

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

(2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり、からむし織りなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間で実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

・まほろん森の塾

- 第1回「入塾式・灯心づくりなど」 8月30日 参加者4名
- 第2回「灯明皿づくり・アブラナ種植え」
10月11日 参加者4名
- 第3回「行灯づくり・アブラナ観察」
11月15日 参加者5名
- 第4回「油絞り・行灯点灯・修了式」
12月20日 参加者4名

・実技講座

- 「おすもうさん埴輪づくり」 10月4日 参加者4名
- 「大堀相馬焼に挑戦①印花づくり」 10月18日 参加者12名
- 「大堀相馬焼に挑戦②皿づくり 成形」
11月1日 参加者12名
- 「土器づくり初級編Ⅰ」 11月6日 参加者0名
- 「土器づくり初級編Ⅱ」 11月7日 参加者5名
- 「大堀相馬焼に挑戦③絵付け」 11月8日 参加者10名
- 「実験講座ガラスはどうしたらできるのか①坩堝づくり」
11月29日 参加者4名
- 「実験講座ガラスはどうしたらできるのか②操業実験」
12月6日 参加者5名
- 「土器づくり上級編①土器づくり」 1月16日 参加者7名
- 「土器づくり上級編②成形・施文」 1月17日 参加者7名
- 「土器づくり上級編③ミガキ調整」
1月19日～21日 参加者16名

- 「アンギン台での布づくり①」 1月26日 参加者3名
- 「アンギン台での布づくり②」 1月27日 参加者3名
- 「アンギン台での布づくり③」 1月28日 参加者2名
- 「アンギン台での布づくり④」 1月29日 参加者3名
- 「縄文土器づくり上級編④野焼き」 3月7日 参加者7名

(3) 体験イベント

- 「まほろん夏休み特別体験」 8月8日～16日 参加者920名
- 「まほろん感謝月間」 11月1日～29日 参加者1,316名
- 「まほろん冬まつり」 2月24日 中止

(4) 館外体験学習

ア おでかけまほろん

福島県文化財センター白河館の職員が、小中学校等教育機関を対象として職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働で行うプログラム。令和2年度は8校で実施し、参加者数は合計257名であった。

- 第1回 二本松市立杉田小学校 9月3日 参加者32名
- 第2回 喜多方市立第二小学校 9月10日 参加者64名
- 第3回 いわき市立汐見が丘小学校 9月17日 参加者26名
- 第4回 相馬市立大野小学校 10月8日 参加者28名
- 第5回 南相馬市立太田小学校 10月22日 参加者36名
- 第6回 昭和村立昭和中学校 10月29日 参加者21名
- 第7回 喜多方市立上三宮小学校 11月18日 参加者12名
- 第8回 二本松市立塩沢公民館 12月17日 参加者38名

イ 生涯学習行事への出席

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントへの出席・体験学習プログラムの実施を中止した。

8 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会や講座を開催した。

- (1) 館長講演会 3回開催
- 第1回「自然災害としての新型コロナ―歴史のなかの感染症―」
6月6日 中止
- 第2回「シンポジウム鉄の道をたどるに寄せて」
7月23日 中止
- 第3回「シリーズ民族共生象徴空間ウポポイ開設に寄せて
その1 先住民族アイヌの現在と歴史遡上の試み
―アイヌ新法から日本書紀まで―」
9月12日 聴講者 16名
- 第4回「シリーズ民族共生象徴空間ウポポイ開設に寄せて
その2 北日本の人類史の流れを下る―考古学から
アイヌ文化の形成を探る―」
12月18日 聴講者 14名
- 第5回「コロナ時代の考古学ニュースを解説する」
2月28日 聴講者 18名

(2) 文化財講演会

- 「ふくしま発掘最前線」 7月18日 中止
- 「阿武隈川流域の古墳時代」 9月27日 参加者 16名
- 「福島県における石製模造品の様相―建鉾山祭祀遺跡出土
遺物を中心に―」 11月21日 参加者 17名
- 「大木貝具塚と大木式土器」 1月24日 参加者 16名
- 「法正尻遺跡の集落構成」 2月27日 参加者 23名
- 「相馬中村藩の製塩遺跡とソルトロード」・「古代製鉄炉復
元操業実験の成果と仮題」・「中世のムラー北と南から―」
11月23日 参加者 24名

(3) シンポジウム

- 「鉄の道をたどる」 7月23日～24日 中止

9 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。常設展示では、次の各展示コーナーにより構成される。「暮らしのうつりかわり」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名場面」「話題の遺跡」については展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

- 暮らしのうつりかわり（昭和～縄文時代の出土品等）
- みんなの研究ひろば（実技講座「土器づくり上級編」製作品等）
- しらかわ歴史名場面（阿武隈川流域の旧石器時代遺跡出土品等）
- 話題の遺跡（まほろん収蔵の大堀相馬焼や双葉・大熊町教育委員会所蔵の民具等）
- 重要文化財公開（国指定法正尻遺跡出土品）
- プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え
 - ・「まほろんの逸品」（飯舘村羽白C遺跡等）
 - ・「新春干支特別展示」（関和久遺跡出土「丑」墨書須恵器等）

10 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

- (1) 収蔵資料展
「ふくしま鉄ものがたりⅡ」
4月11日～5月19日 観覧者 166名
- (2) 特別展
「ふくしま発掘最前線―十三遺跡記―」
6月6日～8月30日 観覧者 3,259名
- (3) ふくしま歴史探訪展
「ようこそ古墳時代へ！―阿武隈川上流域に暮らした人々―」
9月26日～12月13日 観覧者 3,191名
- (4) 指定文化財展
「法正尻遺跡展Ⅰ―磐梯山麓最大の縄文集落―」
1月23日～3月28日 観覧者 2,396名
- (5) 移動展
自治体・関係機関等と連携して、移動展を実施した。
○「ふくしま鉄ものがたり」
6月7日～7月3日（場所：福島県立図書館）
観覧者 9,197名
8月1日～8月30日（場所：富岡町文化交流センター）
観覧者 764名
9月2日～10月11日（場所：小高交流センター）
観覧者 526名
○「ようこそ古墳時代へ！」
1月15日～3月18日（場所：矢吹町ふるさとの森芸術村）
観覧者 779名

11 ボランティア運営事業

(1) 「まほろんボランティア」の活動状況

施設・展示の案内
体験学習用器材の整備など
ボランティア連絡会（2回開催）

(2) 登録数

個人ボランティア 33名

12 市町村への技術支援の状況

文化財保護に対する個別の技術支援が必要な市町村に対して、専門職員の派遣を実施する。令和2年度は、6市町に対し計7回、延べ9人の職員を派遣した。

- ・出土遺物保存方法指導
福島市(1回)
- ・文化財保全支援
会津坂下町(1回)
飯舘村(1回)
- ・被災文化財保全支援
本宮市(1回)
伊達市(1回)
鮫川村(1回)

- ・土層断面転写保存支援
会津坂下町(1回)